

令和5年1月号

発行責任者 水上弘祥

編集責任者 古俣伸宏

季 刊 誌

ひ ま わ り



公益社団法人 北海道鍼灸柔整マッサージ師会

〒060-0002 札幌市中央区北2条西1丁目10 ピア2.1 702号

TEL (011)222-4189 FAX (011)222-5589

URL: <http://doshinshikai.jp/>

E-mail : hhkm@gaea.ocn.ne.jp

巻 頭 言

会長 水上 弘祥

新年あけましておめでとうございます。

コロナ感染症の勢いは収まらず、各方面に多大なる影響をあたえています。また、ウクライナをめぐる状況、そして円安により物価高を引き起こしています。

我々は、今まで経験したことの無い状態に突入しているといっても過言ではないと思います。コロナの影響の少なかった建設業等も資材の高騰、人手不足と影響が大きくなりつつあります。

私どもの業種も、その単価の低さから物価高を吸収しきれず苦しい治療院経営を迫られています。柔道整復の業界も自由診療に活路を見出す動きがみられます。右を見ても左を見ても治療院経営にとって難しい局面になっておりますが、治療院の皆様は苦しいながら患者さん一人一人を大切にすしか局面の打開策はありません。もう一度皆さんと初心に帰って患者さん本位の治療を行い患者様と真摯に向き合う1年にしていきたいと思います。皆さん頑張ってください。

年頭の挨拶

副会長・保険局長 戸沢 茂

新年あけましておめでとうございます。まだまだ我々の業界は厳しい状況にあります。本年は何かきっかけが見つかり、ジャンプできる年になればいいですね。

本年も宜しくお願い致します。

副会長・総務局長 片平 巧

謹んで初春のお慶びを申し上げます。

旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。皆様のおかげをもちまして無事に新しい年を迎えることができました。いまだに新型コロナウイルス感染症が収まりを見せないなか、於いて業界も大変厳しい状況です。しかし、少しずつではありますが世の中も動いてきています。緊張感を引き続き持ちつつも皆さまにより一層お役に立てるよう会運営に努めてまいりますので本年も変わらぬご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

末筆ではございますが、皆様のご健勝とご多幸をお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。

副会長・学術局長 岩倉 淳

新たな年を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

北海道鍼灸柔整マッサージ師会会員の皆様におかれましては、つつがなく新年をお迎えのことと思います。

約3年間にもおよぶ新型コロナウイルス感染症拡大は終息がみえず、鍼灸・あん摩マッサージ指圧・柔道整復のような面前サービスを行う職業についても、事業存続に与える影響が計り知れない状態となっております。また一方で、関東や関西など、大都市における本業界の市場規模は、新型コロナ前以上の回復となってきているともいわれています。

このような状況においても、地域住民のニーズがあることをふまえれば、当業界は地域住民のためになる業界となるよう努力を惜しまず、真剣に行動していかなければなりません。この行動の先にこそ、当業界の未来や本当の姿が見えてくると思います。

本年が会員の皆様にとって、実り多き年となりますよう祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

財務局長 平野 敬司

北海道鍼灸柔整マッサージ師会会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。

2023年は、卯年(うとし)で、いわゆる兎(うさぎ)年です。うさぎの跳躍力で、皆様のさらなる「飛躍・向上」する年になりますことを、心よりご祈念申し上げます。

事業局長 中山真弘

会員の皆様新年明けましておめでとうございます。

本年はコロナの状況を考慮しつつ、ボランティア事業など再開いたしまして、会員の皆様と交流出来ればと考えております。

皆様のご健康とご多幸をお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年もよろしくお願い申し上げます。

広報局長 古俣 伸宏

謹んで新春をお祝い申し上げます。

未だにコロナ感染症が収束していませんが、少しずつですが世の中が動きつ

つあります。

緊張感を保ちつつとはなりますが、会員の皆様が実り多き一年となりますようにご祈念いたしまして新年の挨拶とさせていただきます。

視覚障害支援局長 羽山 康雄

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染が猛威を振るうなど、いい話題の少ない年がありました。なんとか本年は会の活動が再開できるよう願うばかりであります。

本年も視覚障害支援局として、視覚障害者の皆様にお役に立てるよう努力して参りたいと思います。ご協力よろしくお願いいたします。

今年一年が実りの多い年になりますよう祈念申し上げます。

理事 西村 宏美

新年、明けましておめでとうございます。

本年が皆様にとって輝かしい年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

昨年はコロナ感染症が続く中で、徐々にその振る舞いも変容し、行動制限も解除の方向に向かい始めた一年でした。また 11 月から開催されたサッカーのワールドカップは、日本代表の活躍もあり大いに盛り上がりました。

コロナ禍以降、停滞し続けていた世の中に、そろそろ希望が芽吹く春がやってくる年となる事をお祈り申し上げます。

年頭にあたり、皆様のご健勝とご発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

理事 大泉 理人

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

2023 年は、東洋の「十干十二支」の考え方では「癸卯（みずのとう）」の年です。「癸卯」は、これまでの努力が実を結び勢いよく成長し飛躍する、そのような年になると考えられています。

どうか本会員の皆様にとって、さらには患者様にとりまして今年一年が「癸卯」となり、さらに卯の守本尊であります文殊菩薩の文殊の知恵を授かりながら困難を乗り越え、多幸な一年となります事を祈念いたしまして年頭のご挨拶とさせていただきます。

お知らせ

学術局

学術局長 岩倉 淳

研修会のご案内

北海道札幌視覚支援学校附属理療研修センターから研修会のご案内が届きましたのでお知らせ致します。今回は Zoom 配信も同時に行うハイブリット開催となります。

■医学研修講座 ☆あはき師対象（Zoom 配信も予定しています。詳細は申込時にお伝えします。）

2月5日（日） 講義 10:00～12:00／13:00～15:00

（午前）『医療コミュニケーションの実際』

講師：札幌医科大学医療人育成センター 教育開発研究部門 医学部

杉村 政樹 先生

（内容）臨床現場において最も備えるべきスキルは、コミュニケーション力です。また、治療の第一歩は患者さんとの良好な関係作りです。特に近年では、就職の際に求められる要素としては、確かな治療技術よりむしろコミュニケーション力となっているのが現状です。

本講座では、医学生の教育に携わられている杉村先生から、患者さんとのコミュニケーションに焦点を当て、教育と臨床の現状と課題を交えながらご講義等をいただきます。

（午後）『依存症のいま』

講師：医療法人北仁会 旭山病院 依存症センター

センター長 橋本 省悟 先生

（内容）人間社会の様々な事象が多様化・複雑化し続ける現代において、依存症の種類もアルコール・薬物・ギャンブル・買い物・インターネットなど多岐に渡って患者数も増え続けています。

本講座では、依存症の概要や病態、最近の依存症の特徴をはじめ、治療の方法や内容、家族会の意義などについて多角的にご講義していただきます。

保険局

保険局長 戸沢 茂

会員のページです

事業局

事業局長 中山 真弘

令和4年度 地域研修講座のご報告

昨年度に引き続き感染拡大防止の為に少人数での開催となりました。

- ・ 道北地域
少人数の為中止になりました。
- ・ 道央地域
期 日:令和4年10月23日(日)
参加人数:3名
- ・ 道南地域
期 日:令和4年10月30日(日)
参加人数:8名
- ・ 道東地域
- ・ 釧根三療研修会
期 日:令和4年11月5日(土)
参加人数:9名
期 日:令和4年11月6日(日)
参加人数:6名